



▲船着き場は漁協側の岸壁沿い



▲マハタの突っ込みは強烈。竿でためて慎重に巻き上げよう



生きイワシをエサに大型を狙う 大原沖のマハタが面白い!!

外房大原港出船

撮影◎伊井泰洋

エサのイワシは17センチ前後



●当日最大は1キロ級にとどまったが、当地は4キロオーバーの大型も潜む



▲マハタに的を絞るなら1本バリ仕掛けがおすすめ、オモリは80号



●良型のカンコモ上がった



●筆者もマハタをキャッチ



●当日のトップは3尾が2名

この季節、外房大原の一番人気はヒラメだが、マハタ狙いもひと味違った面白さがある。釣り場は大原沖の水深50〜70メートル前後で、生きイワシをエサに胴つき仕掛けて狙う点はヒラメと同様。ただし根の荒いポイントを狙うためハリス8号とヒラメ仕掛けよりワンランク太くして、タナも2メートルほど底を切るなど高めを狙う。当たり外れのある釣りだけにいい日は1〜2キロ級主体に4キロオーバーを交えてトップで4〜5尾釣れることもある。そんなのかそるかのギャンブル的な要素も釣り人を熱くさせるのだ。(詳細は50ページ参照)

◎外房大原港・天の清栄丸
天野 清樹船長

